

第4章 施策の展開

第1節 誰もが学べる環境の整備

基本施策1 誰もが学べる環境の整備		
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての子どもが、多様な体験活動に参加できている。 ●誰もが、いつでも、どこでも、学べる環境で、生涯にわたり多様な学びに取り組んでいる。 ●日本遺産*や歴史文化などを体験できる機会が充実している。 ●生涯学習情報が SNS・インターネット・広報紙などの複数の媒体で、分かりやすく提供され、市民の生涯学習活動の充実につながっている。 ●生涯学習施設が、市民が気軽に活用でき、学びのきっかけづくりの場として機能している。 	
施策展開の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが、子ども同士のみならず、様々な立場や年代の大人とともに学びあう機会や、主体的に学ぶ機会を充実させます。 ●乳幼児から大人まで切れ目ない読書活動を支援し、「読書のまち八王子」を推進します。 ●学びのきっかけづくりや、多様な市民ニーズに対応した学習環境づくりを進めます。 ●日本遺産認定ストーリーを活用し、全ての世代に郷土の歴史や文化財、文化芸術に触れる機会を提供します。 ●生涯学習を始めたい市民、学習をより深めたい市民、サークル活動やボランティア活動など人とのつながりを求める市民が、必要とする生涯学習情報を分かりやすく入手できるよう、情報提供を充実させます。 ●身近な場所で生涯学習活動がしやすいように、環境整備を進めます。 	
施策の展開	01 子どもの頃から始める生涯の学び	1 子どもたちが体験できる機会の充実
		2 青少年の海外交流・都市間交流の実施
		3 全ての世代への切れ目ない読書活動の支援
	02 多彩な学習環境の充実	4 人生を豊かにする多様な講座の提供
		5 郷土の歴史や文化財、文化芸術に親しむ機会の提供
		6 スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実
		7 社会人の学び直しの支援（リカレント教育・リスキリング）
		8 生涯学習の相談体制の充実
		9 生涯学習機会の情報発信と参加の促進
		10 生涯学習環境の充実と活動の場の提供
		11 新たな読書環境の整備
	03 共生社会の実現に向けた生涯学習の支援	12 誰一人取り残されないための学習機会の提供
		13 健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組
		14 デジタルとアナログを両立させた図書館サービスの拡充

基本施策1 誰もが学べる環境の整備

施策の展開01	子どもの頃から始める生涯の学び
---------	-----------------

本市では、乳幼児期から学齢期に至るまで切れ目なく地域全体で子どもと子育て家庭を支える施策を展開していますが、家庭環境の多様化などから地域と子育て家庭のつながりが希薄になっています。この時期の質の高い学びや体験は、生涯にわたって良い影響を与えるため、全ての子どもに、様々な学びや社会で生き抜く力を得るための糧となる多様な体験活動の機会を提供することを目指します。

【現状と課題】

- 国の「こどもの居場所づくりに関する指針」によると、全ての子どもが社会で活躍するための主体性や創造力を養えるよう、STEAM教育*をはじめとした多様な学びや体験活動の機会を提供することが求められています。
- 姉妹都市や海外友好交流都市との青少年の交流により、相互の歴史・文化に理解を深め、郷土愛や豊かな心を育てています。
- 学び（遊び）や体験の機会は、学習意欲や協調性などの非認知能力の向上に大きな影響を与えますが、新型コロナウイルス感染症の流行等による体験機会の減少や経済的・環境的要因による家庭間の体験格差が社会的な課題となっています。

【具体的な施策】

■施策1 子どもたちが体験できる機会の充実

<内 容> 地域の特性を活かした体験の機会を充実させ、多世代交流や市民と地域との協働を推進しつつ、全ての子どもに、原体験（生き方や考え方に影響を与える経験）となるような機会を提供します。また、子どもが自由に豊かな外遊びなどの体験ができるよう、地域の団体の取組を支援します。

<取組例>

情報紙「八王子まるごと子どもキャンパス」	大学コンソーシアム八王子*加盟校のキャンパスで開催される小中学生を対象とした、STEAM教育*やスポーツなど、各校の特色を活かした多様な講座や体験型イベントの情報を発信する。
子ども体験塾「トイ・トイオーケストラ！」	オーケストラを実際に鑑賞する機会の少ない子どもたちに、生のオーケストラの大迫力を体感できる機会を提供し、音楽への興味と豊かな感性を育む。

八王子浅川水辺の楽校	生き物の採集やボートでの川遊びなどの体験活動を通して環境教育の充実を図るとともに環境を大切に作る心と行動力を育てる。
八王子「宇宙の学校」	実験工作に取り組むスクーリング*と日常の家庭学習を組み合わせ、宇宙や科学と家庭・地域を結びつけ、探究心の強い子どもたちの育成を図る。
夏休み子どもいちょう塾	大学コンソーシアム八王子*加盟校の先生たちが、各校の特色を生かして、子どもたちに夏休みの特別教室を開講する。
親子里山保全体験講座	自然体験を通じて、里山の文化を学ぶとともに、里山保全の普及啓発を図る。
とうきょうすくわくプログラム	幼児教育・保育施設が、各園の環境や強みを活かしながら、選択するテーマに沿って実践する、乳幼児の興味・関心に応じた探究活動を実践し、非認知能力の向上を図る。
体験農業	田植えから収穫まで一連の作業をとおして農業に対する理解を深める稲作体験や親子農業ツアー、搾乳体験など農業にふれあう機会を提供する。



<八王子浅川水辺の楽校>



<八王子「宇宙の学校」>

■施策2 青少年の海外交流・都市間交流の実施

<内 容> 姉妹都市等との青少年の交流を行い、日本遺産*をはじめとした歴史文化など、お互いの地域について学ぶことで多様性、多文化への理解を深めます。また、友情や郷土愛を育み豊かな心を育てます。

<取組例>

青少年海外交流事業	海外の青少年と交流し、国際理解を深め、異文化・外国語でのコミュニケーション体験により国際的視野を持った青少年を育成する。
北海道白糠町小学生交流事業	本市と歴史的なゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し、互いの地の歴史文化の体験や学習を通じて親善を深め、友情を育む。
姉妹都市給食オンライン交流事業	市内小中学校で姉妹都市のご当地メニューを提供する。給食オンライン交流等を行うことにより、児童・生徒の交流を図るとともに、姉妹都市への相互理解を深める食育事業を展開する。



<青少年海外交流事業>



<姉妹都市給食オンライン交流事業>

■施策3 全ての世代への切れ目ない読書活動の支援

<内 容>乳幼児期から大人まで全ての世代の読書活動を支援することで、読書習慣の獲得及び継続的な図書館利用につなげます。また、「読書」や「図書館」に親しみ、習慣化を推進する環境を提供し「読書のまち八王子」の推進に取り組みます。

<取組例>

おはなし会、読み聞かせ	様々な媒体を活用しながら、乳幼児期から本に親しむきっかけを提供していく。図書館をはじめ保育園、幼稚園や子育てひろば、児童館等での読み聞かせ活動により、乳幼児期の読書活動の推進を図る。
本のPOPコンテスト	小学生から大学生を対象に「おすすめしたい本」のPOP作品を募集する。入賞作品は、市内図書館・書店等で本とともに展示し、児童・生徒がPOPを通じた「本のPR」の実体験を得る、アクティブ・ラーニングの機会とする。
各種目的施設へのアウトリーチ*・連携	市の所管課などを通じ、就労や子育てなど各目的を持った施設と市民の興味関心をつなげ、課題解決へのサポートを行う。
高齢者施設への出張図書館	来館が困難な施設入居者の読書活動支援のため、高齢者施設への出張図書館、団体貸出を行う。



<おはなし会>



<本のPOPコンテスト受賞作品>

コラム①

STEAM 教育

STEAM 教育は、STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲で A を定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習です。

<出典：文部科学省ホームページ (<https://www.mext.go.jp/>) >

本市では、学校外の学習として市内の企業や大学等と連携し、科学教室やプログラミング教室など様々な取組を行っています。児童・生徒が課題に対して疑問を持ち、どのように解決すればよいかを探究する姿が見られます。

今後は、学校内の学習も含めた「八王子市版 STEAM 教育学習プログラム」を開発し、児童・生徒たちに社会で生き抜く力を身につけてもらうため、本市の特性を活かし、企業や大学等と連携した取組を推進していきます。



これまでの取組

子どもの未来を創造性豊かにする 広域活動

東京工科大学と連携して、プログラミング領域又はコンピュータグラフィック領域・美術領域において特異な才能を有する児童・生徒に対し、才能をのびのびと発揮することを目指す取組。

【対象】
市立小 5 から中 3 (義務 9)



中学校科学教室 小学校科学教育センター

東京高等工業専門学校や東京工科大学、市内の企業と連携して、自然に関する科学的関心・意欲・態度、科学的思考力や技能の向上を目指す取組。

【対象】
市立小 6 ・ 中 1 (義務 7)



基本施策1 誰もが学べる環境の整備

施策の展開02	多彩な学習環境の充実
<p>人生100年時代において、ライフスタイルが多様化するなかで、より充実した人生を送る上で、学校教育から離れた人が学びたいときに学び直せる環境（リカレント教育）*やリスキリング*の必要性が高まっています。社会人の学び直しに関する情報の提供の推進や、多種多様な講座の提供、「八王子駅南口集いの拠点（仮称）」における「いこいライブラリ（仮称）」の創設といった新たな学習環境の提供などにより、学びへのきっかけをつくり、人生を豊かにする機会を創出します。</p>	

【現状と課題】

- 令和5年（2023年）市政世論調査によると、この1年間に生涯学習活動に取り組んだ市民の割合について、69.8%に留まっていることから、学びへのきっかけづくりを進め、学びを身近に感じられるように行う必要があります。
- 人生100年時代においては、ライフスタイルが多様化しています。より充実した人生を送る上で、社会人の学び直し（リカレント教育）*・リスキリング*に関するニーズが高まっています。
- 令和2年（2020年）に、本市の歴史文化の魅力を語るストーリーが「日本遺産*」に認定されましたが、令和5年（2023年）市政世論調査によると、日本遺産*に認定されたことを知っている市民の割合について、53.4%に留まっていることから、日本遺産*や歴史文化など地域資源の魅力に触れる機会を提供する必要があります。
- 令和3年（2021年）にオープンした桑都日本遺産センター 八王子博物館（はちはく）において、本市の歴史や文化・伝統芸能に触れる機会を提供しています。令和8年（2026年）に予定されている「歴史・郷土ミュージアム」の開館により、日本遺産*や歴史文化などの魅力を発信する拠点として、更なる普及啓発につながる取組の充実が求められています。

【具体的な施策】

■施策4 人生を豊かにする多様な講座の提供

<内 容> 多種多様な講座の提供により、学びへのきっかけをつくり、人生を豊かにする機会を創出します。

<取組例>

市民自由講座	歴史・文学等、多種多様な分野の講座を開催し、生涯学習活動のきっかけづくりとする。
自然体験・自然観察会	本市の特長でもある豊かな自然を生かし、市民を対象とした自然観察会を行う。
生涯学習 しえんねっと講座	学習支援委員が合同講座「しえんねっと講座」を開催することにより、市民に生涯学習活動のきっかけづくりの場を提供し、新たな参加を促す。
多様な主体との連携イベント	科学・天文・宇宙に関するイベント等を、あらゆる世代を対象に多様な主体との連携により様々な形式で実施していく。

■施策5 郷土の歴史や文化財、文化芸術に親しむ機会の提供

<内 容> 市の伝統文化や歴史を理解する学習機会を提供するために、日本遺産認定ストーリーなどを活用します。また、身近な場所での参加・体験による文化芸術に触れる機会を提供します。

<取組例>

文化財見て歩き	文化財に対する理解を深め、親しむため、地域の歴史や文化財を学芸員が市民と巡りながら紹介する。
八王子車人形*と民俗芸能の公演	八王子車人形*と民俗芸能の公演開催により、市固有の伝統芸能への興味を深めるとともに、伝統芸能の継承について理解と関心を高める。
八王子市民文化祭	市民による文化芸術活動の発表及び市民への鑑賞の機会を提供することにより、市民文化の振興を図る。

<p>外国語ガイドボランティア育成事業 （日本遺産「桑都物語」推進協議会実施事業）</p>	<p>ガイド活動の取組を通じて、青少年に対し日本遺産認定ストーリーをはじめとした桑都・八王子の歴史文化を学び、外国人観光客とのコミュニケーションを図る機会を提供する。</p>
<p>「桑都物語」日本遺産ウォーク （日本遺産「桑都物語」推進協議会実施事業）</p>	<p>日本遺産認定ストーリーや構成文化財の幅広い世代に対する普及啓発に資するため、日本遺産に関連した古道や地域を巡り、桑都・八王子に対する歴史的魅力を再発見する。</p>
<p>歴史・郷土ミュージアム</p>	<p>日本遺産認定ストーリーをはじめ桑都・八王子の歴史文化の魅力を発信することで、郷土愛の醸成を図る。また、多世代交流の場を増やし、文化継承を促進するとともに、多様な学習機会を提供することで、「地域を見て・触れて・感じてもらうミュージアム」を目指す。</p>



<八王子車人形*と民俗芸能の公演>



<「桑都物語」日本遺産ウォーク>

コラム②

日本遺産「靈氣満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」

「日本遺産 (Japan Heritage)」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。地域に点在する魅力ある有形・無形の様々な文化財群をパッケージ化して活用し、国内外に戦略的に発信することで、地域の活性化を図ることを目的としています。

本市の日本遺産ストーリー「靈氣満山 (れいきまんざん) 高尾山 (たかおさん) ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語 (そうとものがたり)～」は、令和2年 (2020年) に全国で88番目に認定を受けた都内唯一の日本遺産です。ストーリーには、「桑都」と称され、養蚕や織物で発展してきた八王子の人々と、高尾山とのつながりの歴史が描かれており、その物語は過去から現在、そして未来へと紡がれていくというものです。

本市では日本遺産ストーリーを活用し、市内外で行われるイベントにおいて展示やワークショップ等を実施することで、桑都・八王子の魅力を発信するとともに、日本遺産紙芝居「空とぶはっばときぬのようせい」の保育園・幼稚園等への無償配布や、小・中学校の郷土学習での日本遺産に関する学習素材の提供、出前講座やガイド人材育成など、子どもから大人まで様々な世代の方を対象にした取組によって、市民の郷土愛を育むとともに、関係人口の増加と地域産業や経済の活性化を目指しています。

日本遺産ロゴマークは市内だけでなく、旅先でも見かけることがあると思います。本市や全国各地の歴史文化を知るきっかけとして、覚えてもらえると嬉しいです。



<桑都物語ロゴマーク>



<日本遺産紙芝居「空とぶはっばときぬのようせい」>



<日本遺産ロゴマーク>

■施策6 スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実

<内 容>スポーツ・レクリエーションに親しむ機会を充実させることにより、自分にあった楽しみ方を見つけるきっかけをつくります。

<取組例>

ネオテニス*教室	親子参加型のスポーツの場を提供し、八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス*」の普及啓発を図る。
ヘルシーウォーキング	市内の名所や自然を感じる施設を巡るウォーキング大会。本事業により、市民の体力、健康増進意識の向上を図る。
市民スポーツ大会	スポーツにおける市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供し、競技の普及、競技力の向上を図る。
市民ボッチャ*大会	共生社会の実現に向け、障害のある人もない人もスポーツに楽しめる機会を創出するとともに、障害者理解の促進を図る。
全関東八王子夢街道駅伝競走大会	公道がコースとなる駅伝では日本最大級の大会として、八王子市の魅力を市内外へ発信し、スポーツの振興と地域の活性化を図る。
働き盛り世代向け健康体操教室	スポーツ実施率の低い30代~40代をメインターゲットとした働き盛り世代向けの健康体操教室を実施する。30代~40代が参加しやすいよう、平日夜間、八王子駅北口（クリエイトホール）で開催する。



<市民ボッチャ*大会>



<全関東八王子夢街道駅伝競走大会>

■施策7 社会人の学び直しの支援（リカレント教育・リスキリング）

<内 容> 学園都市である本市の特性を活かし、市民が大学等の学びを得る機会を広く創出するとともに、様々な機関と連携を図りながら、何歳になっても学び直しができ、スキルアップなどに役立てられるよう、リカレント教育*・リスキリング*の機会やその際に必要となる情報を提供します。

<取組例>

八王子リカレント教育支援アプリ「はちリカ」による情報発信	社会人が学び直しをする際に必要となる情報を、関連する所管や機関、大学等と連携して集め、提供する。
本気の創業塾	市と商工会議所が共同で運営するサイバーシルクロード八王子*において、八王子で創業したい方を対象に創業に必要な基礎知識を学ぶ機会を提供する。
八王子学園都市大学（いちよう塾）	大学コンソーシアム八王子*に加盟する25大学等と連携し、各校の特色を活かした高度で専門的な学習機会を継続的に提供し、市民の生きがいづくりの推進やまちの活性化に貢献することを目指す。

■施策8 生涯学習の相談体制の充実

<内 容> 生涯学習について気軽に相談できる体制を整備し、生涯学習活動のきっかけづくりや支援を行います。

<取組例>

生涯学習相談	生涯学習情報を提供するほか、サークル結成・運営などの学習要望に対して助言する。
学習支援委員による相談	生涯学習に関する相談を受け、助言や情報提供を行う。また、体験学習やワークショップを行い、生涯学習のきっかけづくりを行う。

■施策9 生涯学習機会の情報発信と参加の促進

<内 容> 講座・教室などの学習情報の一元化を行うなど、生涯学習につながる情報について分かりやすく市民に提供し、生涯学習活動への参加を推進します。

<取組例>

SNSによる生涯学習講座・イベント情報の発信	講座・イベント・フリースペースの情報について、FacebookとX（旧Twitter）を通じて発信する。
イベントカレンダーによる情報発信	夏休み期間中に実施する小学生向けの事業を集約した小冊子「夏休みイベントカレンダー」など、学習情報を一元化して市民に分かりやすく情報提供する。
市民センターだよりの発行	住民協議会が発行する情報誌を活用し、身近な地域情報を発信する。
SNSによる外国人向け情報の発信	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実を目指し、随時多言語で、ホームページやFacebookなどのSNSを通じて発信する。

■施策10 生涯学習環境の充実と活動の場の提供

<内 容> 生涯学習施設の充実を通して、生涯学習環境の向上を図ります。

<取組例>

生涯学習センター	地域住民にとって身近な学習拠点であるほか、交流の場、コミュニティ形成の場として、学習ニーズや地域の実情に応じた学習機会を提供する。また、団体・個人に学習室等を貸し出し、市民の自発的な生涯学習活動を支援する。空き学習室はフリースペースとして学生に開放し、若い世代の施設利用を促進する。
図書館	「地域の情報拠点」として、子どもから高齢者まで多様な利用者の学習活動を支え、地域に応じた情報サービスを提供する。また、ホームページやSNSを活用した情報提供の充実や地域資料のデジタル化を推進する。加えて、図書館内に、若い世代を中心的なターゲット層としたフリースペースを設置し、居場所・学習環境の充実を図る。
体育館	各種競技の市民の技術の習得や向上を図るとともに、広く市民にスポーツを始めるきっかけを作り、健康増進の機会を提供する。
八王子駅南口集いの拠点（仮称）	学び・交流・防災の3つの機能を備えた利用滞在を促す「サードプレイス*」を実現するため、八王子医療刑務所跡地を活用し、公園、ライブラリ、ミュージアム、交流スペースが一体となった複合機能施設を整備する。（令和8年10月オープン予定）

■施策 11 新たな読書環境の整備

<内 容>生涯学習の拠点として市民の学びを支えるため、多様な市民ニーズに応えることのできる居心地の良い読書空間を創出します。
また、社会人や高齢者の学び直しを支援する環境を提供します。

<取組例>

八王子駅南口集いの拠点（仮称） 「いこいライブラリ（仮称）」の開館	学習・交流機能を持つ居場所型・滞在型図書館として、公園と図書館が一体となった新しい読書空間を創出する。無料・有料の自習室を備え、気軽に利用できる学びの場を提供する。
レファレンスサービスの充実	利用者が図書館をより活用できるよう、講座や動画による図書館利用方法を周知・提供する。また、対個人だけでなく、庁内所管課や企業・団体を対象とした図書館サービスの周知・提供を行う。
学習・スキルアップの支援	自習スペース等学びの場の提供や、各施設・関係機関と連携した共同展示やイベントの開催、市内の関係機関・人材と連携した資格取得・創業等経営に関する支援及び資料等の情報提供などを行う。



<八王子学園都市大学（いちよう塾）>



<八王子駅南口集いの拠点（仮称）「いこいライブラリ（仮称）」（イメージ図）>

コラム③

リカレント教育

「リカレント教育」は、日本では社会人になってから自らの仕事やキャリア形成につながる知識やスキルを学ぶため、「社会人の学び直し」とも言われています。また、仕事やキャリア形成のためだけではなく、「心の豊かさや生きがいのために学ぶ」こともリカレント教育に含まれるとされています。「人生100年時代」といわれる今では、それぞれのライフステージや時代の変化に応じて生涯にわたって学び続け、仕事や地域活動につながる知識やスキルを身につけるとともに、スポーツや芸術などの趣味をはじめ、興味のある分野を学び続けるなど、自分にとっての生きがいを持つことが重要です。

生涯学習センターでは、社会人になった後でも学習したい方へのきっかけづくりとして、ワードやエクセルをはじめとした仕事などに活かせるICTスキルを学ぶ講座を中心に、「学び直し」をテーマにした講座を実施しています。また、リカレント教育支援アプリ「はちリカ」を通じて様々な学びの情報を提供するなど、学びたいときに学べる環境づくりに取り組んでいます。

「学び直し」は、生き方や働き方の幅を広げ、「あなたのみち」をより豊かにするものです。学び直しをしたい方はもちろん、学び直したいけれど方法がわからない方、ぜひ生涯学習センターにご相談ください。



基本施策1 誰もが学べる環境の整備

施策の展開03	共生社会の実現に向けた生涯学習の支援
----------------	---------------------------

共生社会の実現に向けて、どのような立場の人でも学びたいときに学びを得られる学習環境の構築を一層推進する必要があります。共生社会を理解するための講座やイベントといった取組や、ユニバーサルデザイン*に対応した環境づくりを進めます。

【現状と課題】

- 地域のつながりが希薄になっていることによって、個人が孤立しやすく、障害のある方や外国籍の方等の多様な人々を受け入れる環境が十分でない現状があります。
- 現代の情報社会において、情報が得られる人と得にくい人に格差が生じ、教育、経済、災害等の緊急時など、様々な場面での課題が懸念されています。

【具体的な施策】

■施策12 誰一人取り残されないための学習機会の提供

<内容> 共生社会の実現のため、どのような立場の人でも学びたいときに学びを得られる学習環境の構築を一層推進します。

<取組例>

男女共同参画に係る講座の開催	男女共同参画社会の実現に向けて、一人ひとりの個性と能力を発揮できるよう、意識啓発や参画のための学習機会を提供する。
国際理解講座	外国の文化への理解と外国人との交流を深め、多文化共生の推進を図る。
学習支援のための託児	育児中の市民等の学習支援として、満1歳～未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。
対面朗読*	視覚障害者等への情報支援の一環として、対面での音読を行う。

コラム④

対面朗読

対面朗読（音訳）は、視覚の障害などにより活字による読書への支援が必要な方へ対面で声を出して伝えるサービスです。図書館には専用の部屋があり、図書館の本や雑誌はもちろん、利用者が用意した活字情報、例えば行政からの通知類で急を要するものなどにも対応しています。

文字を読むという行為は、視覚に障害のある方にとって高いハードルとなります。点字や録音図書等を通じて情報を得る方法もありますが、面前で対応しながら音訳するという手法も、読むことに困っている方々の活字文化を支えています。利用者からの「毎週楽しみにしている」「色々なことを知ることができて嬉しい」という声を励みにしつつ、音訳者も緊張感を持って楽しさを共有しています。

伝わる読みをすることは簡単ではありません。音訳技術を高めながら正確に情報を伝えることを心掛け、利用される方々の目の代わりとして活動を続けるボランティアの皆さんも本市の読書バリアフリーを推進する大きな存在です。



「こんにちは」「雨になって大変でしたね」
当日は顔なじみのボランティアと利用者との
何気ない挨拶から始まります。

■施策 13 健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組

<内 容> 講座やイベント等を通して、市民の健康寿命の延伸を目指すとともに、交流の機会を提供します。

<取組例>

市民いきいきリフレッシュ体操	市内の各市民センターで健康体操教室を開催し、市民の健康維持・増進を図る。
ゆうゆうシニア講座	パソコン・タブレット・スマートフォンなどのデジタルに関連する講座や、健康維持に関する学習機会を提供する。
健康づくりサポーターの養成	地域の健康づくり、介護予防活動として、広く健康に関する知識の普及や、運動（八王子けんこう体操等）、体力測定を実施する。その活動を推進するため、健康づくりサポーターの養成を行う。
健康測定会	協定を結んでいる地域の薬局の測定機器を利用した測定会を開催する。会場では薬剤師のお薬相談会や、保健福祉センターでの健康講座の案内も行い、地域の健康づくりの機会を提供する。

■施策 14 デジタルとアナログを両立させた図書館サービスの拡充

<内 容>いつでも、どこでも、誰でも読書に親しめるよう、デジタル化による非来館型サービスを拡充します。併せて来館型サービスも充実させ、デジタルとアナログの両面から読書環境を整えます。また、図書館の DX*化を推進し、より効率的な図書館運営を行います。

<取組例>

電子書籍の充実	場所や時間を問わず利用でき、読み上げや文字拡大機能のある、誰もが利用できる電子書籍を充実させ、活用を促す。
オンラインデータベースの活用	新聞記事、判例など膨大なデータベースの活用をサポートする。
読書バリアフリーに対応した資料の充実	読書バリアフリー法の趣旨に沿い、音訳・点訳資料、大活字本など視覚障害者等にとって利用しやすい資料の充実を図る。
高齢者・障害者への図書宅配サービス	身体に障害のある、または要介護状態等で在宅生活をしている利用者の自宅にリクエスト本を届ける。
多言語資料の充実	外国にルーツを持つ市民への情報提供を進める。



<市民いきいきリフレッシュ体操>



<読書バリアフリーに対応した資料の充実
(読書のバリアフリーのテーマ展示) >



<高齢者・障害者への図書宅配サービス>

第2節 社会を創る学びの推進

基本施策2 社会を創る学びの推進		
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての子どもへの健やかな育ちを地域で支えている。 ●学びが個人にとどまらず、社会や地域での活動に活かされ、人とひととの交流が新たな学びにつながり、学習成果が循環している。 ●高校生・大学生等が地域で活躍できる機会が充実し、地域で高めあって、協働している。 	
施策展開の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●学校、家庭、地域が連携・協働し、子どもたちを支援するとともに大人自身の新たな学びを創出します。 ●市民団体等との協働によるイベントの実施を通じ、市民が学習成果を発表する機会や、地域で活躍できる機会を拡充させ、市民交流を促します。 ●生涯学習を通じて得た知識や経験が、社会や地域での活動に活かされるよう、ボランティアや指導者の育成、イベントの実施を通じて市民のネットワークづくりを支援します。 ●学園都市である本市の強みを活かし、大学・短期大学（短大）・高等専門学校（高専）と学生、地域の人とのつながりを促します。 	
施策の展開	04 学校、家庭、地域で支える子どもの成長	15 地域と学校との連携・協働を基盤とした生涯学習活動
		16 地域と学校部活動の連携による多様な体験活動の提供
		17 子育て世代がつながるきっかけづくり
		18 地域や学校との連携による多様な読書機会の提供
	05 地域活動に参加する人材の育成	19 地域の課題の発見・解決を支える学びの創出
		20 地域で活躍するボランティアの養成・支援
		21 地域での活動のきっかけづくり
		22 図書館の地域の情報拠点としての機能の充実
	06 学びを活かし、つながり、広がる環境の充実	23 日頃の成果の発揮と学びの広がり
		24 図書館を起点としたつながりの創出
07 学園都市の強みを活かした学びの拡充	25 高校生・大学生・若者を主体とした地域連携・地域活動の推進	
	26 大学等との連携による読書環境の充実	

基本施策2 社会を創る学びの推進

施策の展開04	学校、家庭、地域で支える子どもの成長
---------	--------------------

地域学校協働活動*は、生涯学習の視点から、子どもたちの支援でつながった大人たち自身の「学び」に発展していくことが重要ですが、地域から学校への一方向の支援にとどまっている現状があります。今後は地域と学校の双方向の支援にも目を向け、連携をより強化していくことが求められています。学校コーディネーターの更なる活用などによって、地域学校協働活動*の一層の推進を図ります。また、地域のつながりが希薄になっているなかで、保護者同士が交流できる機会の提供や子どもの居場所づくりに取り組みます。

【現状と課題】

- 令和5年（2023年）の市政世論調査では「地域と学校が、ともに協力し合って子どもたちを育てている」と感じている市民の割合が40%程度にとどまっており、今後は地域から学校への支援にとどまらず、地域と学校の双方向の支援にも目を向け、連携をより強化していくことが求められています。
- 保護者同士や学校とのコミュニケーションの機会が減っていることから、保護者の孤立を防ぐため、情報提供や催しを通じた支援、保護者間や学校とをつなぐ交流の場の提供が求められています。

【具体的な施策】

■施策15 地域と学校との連携・協働を基盤とした生涯学習活動

<内容>多様化する家庭環境に対し、地域全体で子どもの育ちを支えていきます。学校と地域が、双方向に支援し合い、子どもの成長を支えるとともに大人自身の新たな学びの創出を目指します。

<取組例>

学童保育所	保護者の就労等の理由により、放課後や土曜日、夏休み等に保育を必要とする児童の遊びや生活の場の確保と健全育成の支援を行う。学校や放課後子ども教室と連携し、児童の安全安心な放課後時間を確保する。
-------	---

放課後子ども教室	市内小学校区において、朝や放課後の時間帯や夏休み等に小学校を活用し、地域の人材やボランティアの参画を得て、子どもたちに安全・安心な居場所を提供するとともに、学び・体験・遊び・異年齢交流活動等を行う。
地域学校協働活動*の推進	地域ボランティア等の活用を図り、市立小・中学校及び義務教育学校*の学校運営や教育活動を支援する。
子育て講座	保護者が楽しく正しい知識で子育てできるように支援していく。法に基づく事業の1つである「地域子育て支援拠点事業（通称：子育てひろば）」の中で、子育て及び子育て支援に関する講座を月1回、開催する。
児童館事業	子ども・若者育成支援センターにおいて、子どもに健全な遊びを与える。同センターは、児童福祉施設である児童館の機能を持ち合わせていることから、子どもに対して工作、手芸、ボードゲーム、ボール遊びなどの遊びの機会を与え、遊びをとおして子どもの自主性や社会性を育む。

■施策 16 地域と学校部活動の連携による多様な体験活動の提供

<内 容> 子どもたちが充実した放課後や休日を過ごせるよう、「持続可能な部活動」と「地域団体の多様な活動」を組み合わせ、子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術活動に親しめるよう、地域全体で幅広く支えることができる仕組みづくりに取り組めます。

<取組例>

持続可能な学校部活動の仕組みづくり	学校部活動の再編に向けた指導・助言を行うとともに、部活動指導員を計画的に拡充・配置する。また、先進的な取組事例等の情報発信をしていく。
地域団体の拡充	団体数・種類の確保と維持を行う。また、市内全域での分布を目指す。
子ども向けイベント等の情報収集・発信	子どもを対象としたイベントや教室・講座等の情報を収集・発信し、子どもたちが多様な選択ができるよう取り組む。

■施策 17 子育て世代がつながるきっかけづくり

<内 容>人とひととのつながりを感じながら、安心して子育てできる地域を目指します。

<取組例>

ファミリー・サポート・センター事業	子育ての援助を受けたい者（依頼会員）と援助を行う者（提供会員）が登録会員となり、地域で相互に助け合う活動を行う。
親子つどいの広場	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として、子育てについての相談、情報提供、助言・援助等を行う。
子育て応援ひろば	子育ての中で生じる悩みを解消し、子育て中の保護者を支援する。
家庭教育支援講座「星とおひさま Fika*（フィーカ）キャラバン」ワークショップ	茶話会形式のワークショップにより、保護者の心理的負担を軽減させることで、家庭の教育力の向上を図る。

■施策 18 地域や学校との連携による多様な読書機会の提供

<内 容>読書や図書館を身近に感じてもらえるよう、学校や地域との連携の中で様々な読書機会を提供し、本や読書の魅力を発信していきます。

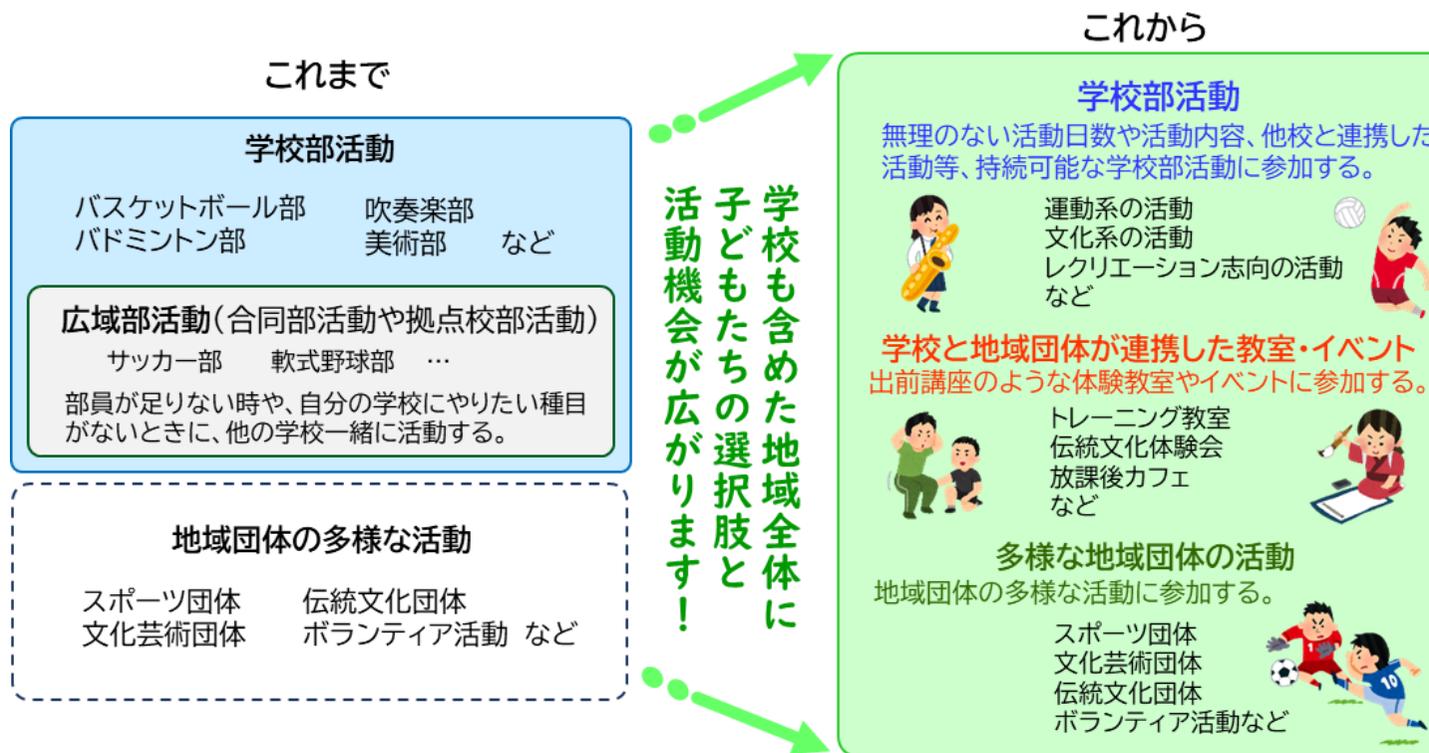
<取組例>

市立小・中・義務教育学校*への団体貸出	中央図書館と学校図書館サポートセンターが連携し、市内小・中・義務教育学校*の学校図書館へ資料の貸出を行うことで、小・中・義務教育学校*の事業や児童・生徒の読書活動を支援する。
学校図書館サポートセンターとの連携・支援	学校図書館サポートセンターとの連携により、学校教育現場から情報を収集し資料選定等に役立てるとともに、学校司書への支援を行う。
学校と連携した電子書籍の利用	GIGA スクール端末等を活用し、小・中・義務教育学校*の児童生徒が図書館の電子書籍を利用して学習活動を行う。
職場体験	中学生が図書館施設や司書の仕事を見学・体験することにより、仕事や社会生活を考える機会とする。

部活動改革

八王子市では、部活動の地域展開等を「部活動改革」と呼び、「学校部活動の再編」と「地域と連携した活動の拡充」を一体的に進め、学校も含めた地域全体で子どもたちの活動機会の確保に取り組んでいます。この「部活動改革」の推進に向けては、これまでのような「部活動は学校で行われるもの(学校が担うもの)」という認識を転換し、「地域の子どもは地域で育てる」という考えが大切になります。

子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化・芸術活動に親しめる環境をつくるために、学校部活動以外でも子どもたちが継続して文化・芸術やスポーツに親しめる環境の整備や、体験教室・イベントを実施していきます。



基本施策2 社会を創る学びの推進

施策の展開05	地域活動に参加する人材の育成
----------------	-----------------------

少子高齢社会において、地域コミュニティの存続のためには、地域社会の担い手となる人材を育成する必要があります。イベントによる市民のネットワークづくりや、多様な講座によるコーディネーター、ボランティア、指導者の育成によって、地域社会の担い手不足の解消に取り組み、学校部活動との連携も含めた地域活動の促進を行います。また、地域の各分野のコーディネーターの活用によって、人と地域をつなげる取組の推進や交流の場の創設を目指します。

【現状と課題】

- 令和5年(2023年)の市政世論調査において、生涯学習を通じて身につけた知識や技能、経験を地域や社会での活動に活かしている割合は、6.8%にとどまっています。
- 様々な学びを「生活に活かす」「キャリアアップに活かす」など、活動に活かし、「学びと活動の循環」を促すことが必要です。なかでも、生涯学習を通じて身につけた知識や技能、経験を、地域社会で活かし、活躍機会の拡大につなげるとともに、地域への還元が求められています。

【具体的な施策】

■施策19 地域の課題の発見・解決を支える学びの創出

<内容> 地域で役立つ知識を学べる機会を創出します。

<取組例>

はちおうじ出前講座	市や官公署、企業の担当者が地域の学習団体等へ出向き、担当業務に関して専門知識を活かした講座を行うことで、市民の生涯学習活動を支援し、意識の向上を図るとともに、市政及び地域課題に対する理解を深める。
景観意識の啓発	市民の景観意識の醸成を図り、身近な地域での実践につながるよう、都市景観セミナーや景観学習などを実施し、景観に関して学ぶ機会を提供する。

■施策 20 地域で活躍するボランティアの養成・支援

<内 容>多様な講座の開講により、地域で活躍するボランティアを育成します。

<取組例>

シニア元気塾 ボランティア入門講座	知識、経験、特技を持つ高齢者の新たな人材発掘及びボランティア活動のきっかけづくりのための講座を実施し、高齢者の社会参加促進を図る。
日本語ボランティア養成講座	外国人市民の日本語学習支援のための支援者を養成する講座を実施する。
手話講習会・要約筆記者養成講習会	初級・中級手話講習会や手話通訳者養成入門講座等を開催し、手話通訳ボランティアの養成及び障害のある方に対する理解の促進を図る。手話を使えない、中途失聴難聴者の通訳手段である要約筆記技術の習得、要約筆記者の養成の場として、2か年にわたって実施する。
生涯学習コーディネーター養成講座	市民の学習活動を支援する「生涯学習コーディネーター」を養成し、生涯学習推進事業の中核を担う人材の育成を目指す。
はちまるサポーターの育成	ボランティア研修を通じて地域福祉の理解を深め、日常生活の中で地域課題や気になることを市の相談窓口につなぐ、「つなぎ手」を育成する。

■施策 21 地域での活動のきっかけづくり

<内 容>生涯学習を通じて身につけた知識や技能、経験を地域活動に活かせるようなきっかけづくりを進めます。

<取組例>

はちおうじ志民塾	概ね 50 歳以上のシニア世代を対象にした連続講座で、地域で活動するための基礎的な知識や、活動につながる情報や体験を提供するなど地域で活動するきっかけづくりを行う。
市民活動入門講座（アクティブ市民塾）	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。
はちコミねっと	市民活動に関する情報発信を行う。
ボランティアセンター	八王子市社会福祉協議会が運営するボランティア活動の拠点として、ボランティア講座の開催や活動体験を通じ、ボランティア活動をしたい人と活動場所をつなげる。

■施策 22 図書館の地域の情報拠点としての機能の充実

<内 容>地域の情報拠点として、また課題解決の場として利用してもらえるよう、各機関と連携を行い、図書館情報や市の施策等について発信します。また、地域の課題解決の場として、市民から地域へと情報発信ができる場を目指して支援を行います。

<取組例>

図書館ボランティアの育成・支援	図書館で活動する様々なボランティア団体への支援を行い、必要に応じて研修等を行う。初級音訳講習会を関係所管と共催し、音訳ボランティアを育成する。
行政連携展示	テーマ展示等による市の重要施策に係る情報発信や、図書館の会議スペースを活用した講座等の実施、他所管実施イベント等への出展による図書館情報の発信などを行う。
パークライブラリー	図書館周辺の公園を活用し、読書関連のイベントやおはなし会を開催し、アウトリーチ*型の新たな読書空間の創出を図る。併せて地域コミュニティの活性化に寄与する。



<行政連携展示>



<パークライブラリー>

基本施策2 社会を創る学びの推進

施策の展開06	学びを活かし、つながり、広がる環境の充実
----------------	-----------------------------

地域活動は本来、一人ひとりが社会の一員としての自覚のもとに参加することが理想ですが、情報不足などによりそれが難しい人も多くいます。地域活動の更なる周知や、講座参加者がその成果を活かすことができる場への接続を確実に行うことによって、地域活動参加へのきっかけづくりを行います。

【現状と課題】

- イベント等を通じて生涯学習に参加する市民の輪を広げる機会が求められています。
- 市民が、日頃の生涯学習活動の成果を、様々なイベントの開催を通じて発表したり、交流したりする場があることが重要です。

【具体的な施策】

■ 施策 23 日頃の成果の発揮と学びの広がり

<内 容> 学習成果を発表する場へ市民の参加を促し、交流により学びはじめるきっかけづくりを行います。日々の練習の成果を発揮するための大会等を開催し、更なる向上へとつなげます。

<取組例>

市民センターまつり	地域コミュニティ拠点の市民センターで、住民協議会による市民センターまつりを開催し、コミュニティ活動の育成・活性化を図る。
八王子市立小・中・義務教育学校*合同作品展「おおり展」	児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。
南大沢総合センターまつり・川口やまゆり館まつり	生涯学習センターを利用している団体と協働して日頃の学習の成果を発表し、地域の活性化につなげる。
八王子まつり	地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚を図る。

八王子いちょう祭り	有志市民によるまつりで、地域の発展と自然と心のふれあう地域文化の社会的な広がりを目指す。
生涯学習フェスティバル	市民が自ら学習活動を行うきっかけづくりと、学びあう交流の場を提供する。
消費生活フェスティバル	食・環境・暮らし・安全安心・消費者被害対策などの消費生活に関する啓発を行う。消費者団体相互の交流を図るとともに、消費者団体等と連携して、消費生活に関する情報を体験や遊びを通して消費者に提供する。

■施策 24 図書館を起点としたつながりの創出

<内 容>生涯学習のきっかけとして、利用者が共通の興味関心を持ってつながるよう、場所や機会を提供します。また、利用者が求めるサービスを提供できるよう、行政と利用者が連携した「共創*」の図書館運営を目指します。

<取組例>

八王子千人塾	生涯学習支援として、60歳以上の市民を対象に、図書館の利用方法・資料検索方法・論文の書き方等の講座を開催し、仲間づくり・生きがいづくりを創出する。
ヤングパートナーズ（図書館ボランティア）	本好きな若者たちが集まり、活動できる場所を提供する。図書館主催イベント等への関与によるニーズ把握と読書に対する興味関心を醸成する。
幸齢者カフェ	介護や認知症などについて気軽に話し合える「幸齢者カフェ」を開催する。図書館では認知症に関連した本の紹介やイベント等を行う。



<ヤングパートナーズ>



<幸齢者カフェ>

基本施策2 社会を創る学びの推進

施策の展開07	学園都市の強みを活かした学びの拡充
----------------	--------------------------

本市では、地域全体が学びの場となり、大学等と地域が連携し合う「まるごとキャンパス八王子*」を推進しています。これを踏まえ、学生等が地域とつながるための自主的な活動を支援し、地域と学生等の学びの環境の充実を図ります。

【現状と課題】

- 大学コンソーシアム八王子*の場を活用し、大学等と連携した取組を行っています。
- 市政世論調査では「大学・短大・高等専門学校の高い専門的知識や学生の活力がまちづくりに活かされている」と感じている市民の割合が20%程度にとどまっており、学園都市である本市の強みを活かし、大学等・学生と地域の人との一層の連携が求められています。

【具体的な施策】

■施策25 高校生・大学生・若者を主体とした地域連携・地域活動の推進

<内容>高専・短大・大学等で学ぶ高校生・大学生等が地域住民とつながり、地域に親しみをもって、自主的な活動を続けていくきっかけを多岐にわたって用意します。

<取組例>

★学生天国★	大学コンソーシアム八王子*加盟25大学等の学生で構成する学生委員会により開催し、学生同士や市民の方々との交流を図る。
学生発表会	大学コンソーシアム八王子*加盟25大学等の学生が、まちづくりをはじめとした幅広い分野について日頃の研究成果を発表する。
若者による社会参加・社会貢献活動の促進	大学生が八王子を舞台に企画・運営するイベントや、青少年の非行などから立ち直るための活動を行っている団体の支援を行う。

■施策 26 大学等との連携による読書環境の充実

<内 容> 地域や利用者の課題解決や読書環境の充実のため、市と大学等で連携し、所有する資料等のリソースを相互に活用します。

<取組例>

大学図書館利用の促進

特に中高生を中心に、大学図書館の開放情報の積極的な提供をはじめ、書籍やデジタルリソース*の共有による、学習の深化や課題解決の支援を行う。

大学等との共同研究・企画

大学等の専門的知見による調査・分析等の図書館施策への活用や応用のほか、学生のニーズを捉えたイベントの実施などを行う。



<★学生天国★>

コラム⑥

まるごとキャンパス八王子

本市は、地域に25の大学・短期大学・高等専門学校（以下「大学等」という。）が立地し、約10万人の学生が学ぶ、全国有数の学園都市です。この地域特性を活かし、学園都市づくりのパートナーとして支援する大学コンソーシアム八王子*とともに、大学等との連携によるまちづくりに取り組んでいます。

大学等と地域がともに発展するまちづくりを実現するためには、大学等が地域を実践の場として行う教育を支援し、地域の活性化につなげていく必要があります。地域全体が学びの場となり、大学等と地域が連携する「まるごとキャンパス八王子」の推進が重要です。地域で活動する多様な人材との交流を通じて、学生だけでなく市民も「学び」「育ち」、さらには学生が地域での学びを通じて、八王子の魅力を発見し、将来のライフステージにおいても、本市が「働く」「暮らす」、観光などで「訪れる」、または多様な形で「かかわる」場となることを目指しています。

令和6年（2024年）に策定した「第2期はちおうじ学園都市ビジョン」においても、「まるごとキャンパス八王子 ～学生、人材が「集う」まちに～」をキャッチフレーズとして、学園都市づくりを推進しています。

Pick up ! 学生と連携したまちづくり

本市では、学生が地域を舞台とした様々な活動を通して地域住民と交流を持つことで、地域の一員としていきいきと暮らし、さらには学生の発想を活かして地域に活力が生まれるような、学生と連携したまちづくりを推進しています。



（写真）団地の活性化に取り組む学生／法政大学 SIC「館ヶ丘団地プロジェクト」

【八王子市の学園都市づくり推進体制】

